

石川県の将来推計人口

(平成 30 年国立社会保障・人口問題研究所推計)

この将来推計人口は、平成 27 (2015) 年の国勢調査を基に、平成 57 (2045) 年までの 30 年間について推計した「日本の地域別将来推計人口 (平成 30 年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所：平成 30 年 3 月公表) について、石川県分を取りまとめたものです。

結果の要点

- ・ 石川県の人口は平成 52 (2040) 年には 100 万人を割り込む
石川県の人口は長期にわたって減少が続き、平成 52 (2040) 年には 100 万人を割り込み、990 千人となる。
- ・ 総人口全国順位は 34 位から 31 位に上昇
石川県の人口は減少するものの減少率が比較的小さいため、全国順位は 34 位 (2015 年) から 31 位 (2045 年) に上昇する。
- ・ 老年 (65 歳以上) 人口の割合は大幅に上昇
老年人口の割合は 27.8% (2015 年) から 37.2% (2045 年) に大幅に上昇する。

URL: http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3447/shourai_kaisetsu.pdf

平成 30 年 4 月

石川県県民文化スポーツ部県民交流課統計情報室

平成30年3月30日、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省所管）から「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」が公表されました。これに基づく石川県関係分の概要は次のとおりです。

目次

1	石川県の将来推計人口	1
2	県内市町、地域の将来推計人口	5
3	県内市町、地域の年齢別人口割合	10

解 説

将来推計人口

国勢調査や人口動態統計などのデータから将来の出生率や死亡率を仮定し、日本全体の人口、都道府県別・市区町村別の人口が数十年後にどうなるか、国立社会保障・人口問題研究所で国勢調査に合わせて、おおむね5年ごとに算出している。平成27年のデータを基にした平成77年（50年後）の日本の推計人口は平成29年4月に公表され、これによると日本の人口は平成27年の1億2,709万5千人から50年後には約3割減少し、8,807万7千人になるとしている。

地域別将来推計人口

今回の推計は、将来の人口を都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、平成27年国勢調査を基に、平成27年から平成57年までの30年間（5年ごと）について、男女・5歳階級別に推計している。

なお、個々の詳しい内容については、国立社会保障・人口問題研究所ホームページ『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）』を参照のこと。

利用上の注意

- 1 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しており、表章単位未満を含んだ数値から算出している。このため、総計と内訳の計とは必ずしも一致しない場合がある。
- 2 「－」は該当数値がないもの、「△」はマイナスを意味する。
- 3 市町名は、平成30年3月1日現在の市町による。

1 石川県の将来推計人口

(1) 石川県の人口は平成 52(2040)年には 100 万人を割り込む。

国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省所管）から、平成 30 年 3 月に公表された「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」によると（以下同じ）、本県の推計人口は長期に渡って減少が続き、平成 52(2040)年には 990,439 人と、100 万人を割り込む。

平成 57(2045)年には 947,918 人となり、平成 27(2015)年の 1,154,008 人と比較すると、約 20 万 6 千人、17.9%の減少となる。

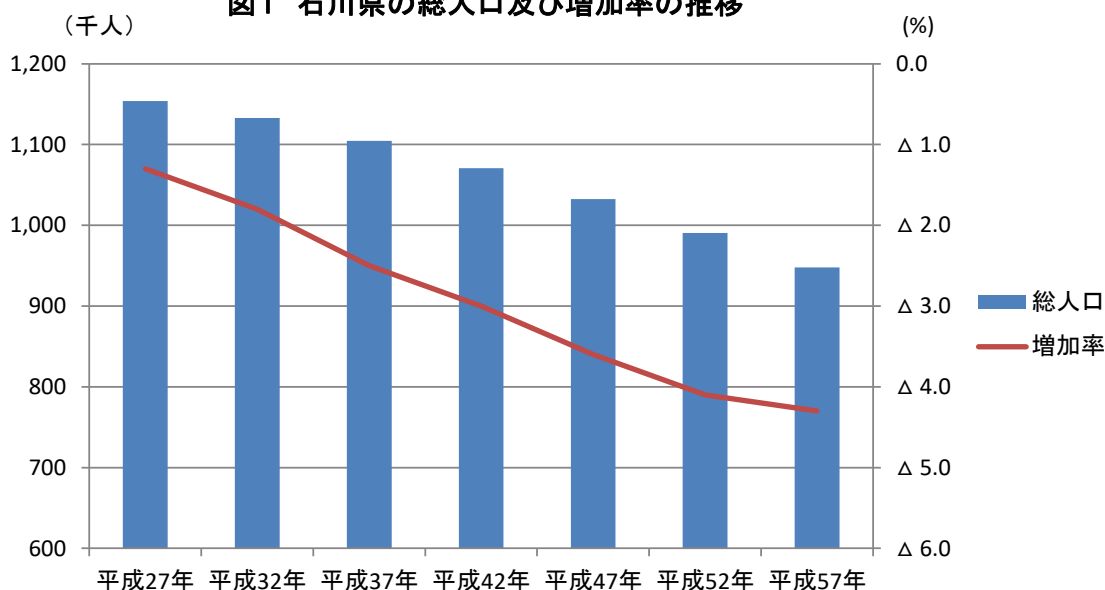
表 1 石川県の総人口、指数及び増加率の推移

年次	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
総人口(人)	1,154,008	1,133,021	1,104,368	1,070,727	1,032,500	990,439	947,918
指数 ※1	100.0	98.2	95.7	92.8	89.5	85.8	82.1
増加率(%) ※2	△ 1.3	△ 1.8	△ 2.5	△ 3.0	△ 3.6	△ 4.1	△ 4.3

※1 平成27(2015)年の総人口を100としたときの総人口の値

※2 増加率は5年前との比較

図1 石川県の総人口及び増加率の推移



(2) 年少(0-14 歳)人口及びその割合は減少傾向。

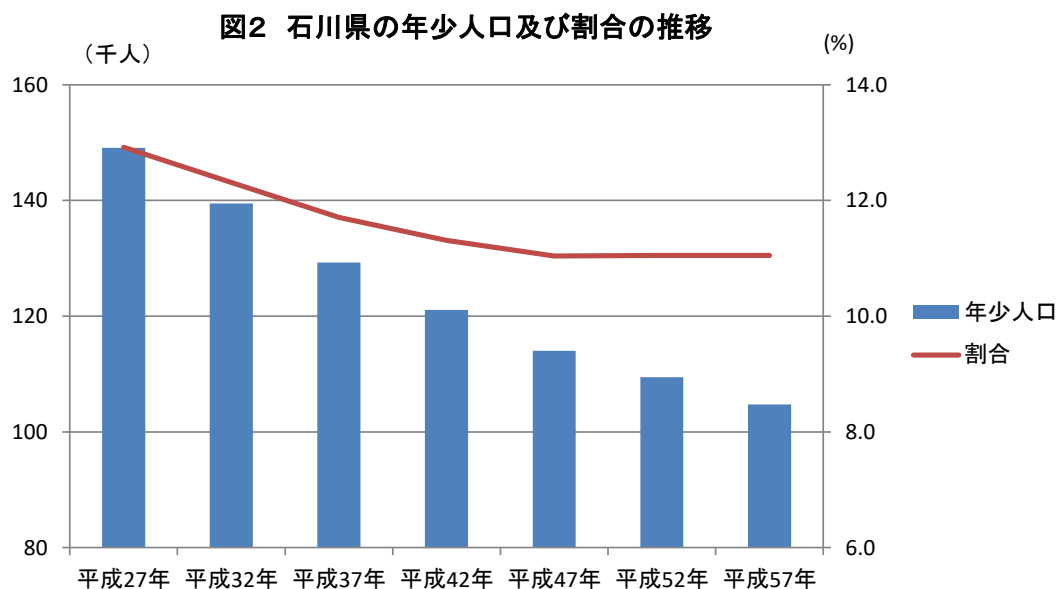
本県の年少(0-14 歳)人口は、少子化の進展に伴い、総人口と同様に減少が続き、平成 57(2045)年には 104,730 人と平成 27(2015)年(149,109 人)の約 7 割に減少する。

総人口に占める割合も、平成 27(2015)年の 12.9%から平成 57(2045)年には 11.0%と 1.9ポイント低下する。

表 2 石川県の年少(0-14歳)人口、指数及び割合の推移

年次	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
年少人口(人)	149,109	139,469	129,265	121,098	113,993	109,431	104,730
指数 ※	100.0	93.5	86.7	81.2	76.4	73.4	70.2
割合(%)	12.9	12.3	11.7	11.3	11.0	11.0	11.0

※ 平成27(2015)年の年少人口を100としたときの年少人口の値



(3) 生産年齢(15-64歳)人口及びその割合も減少傾向。

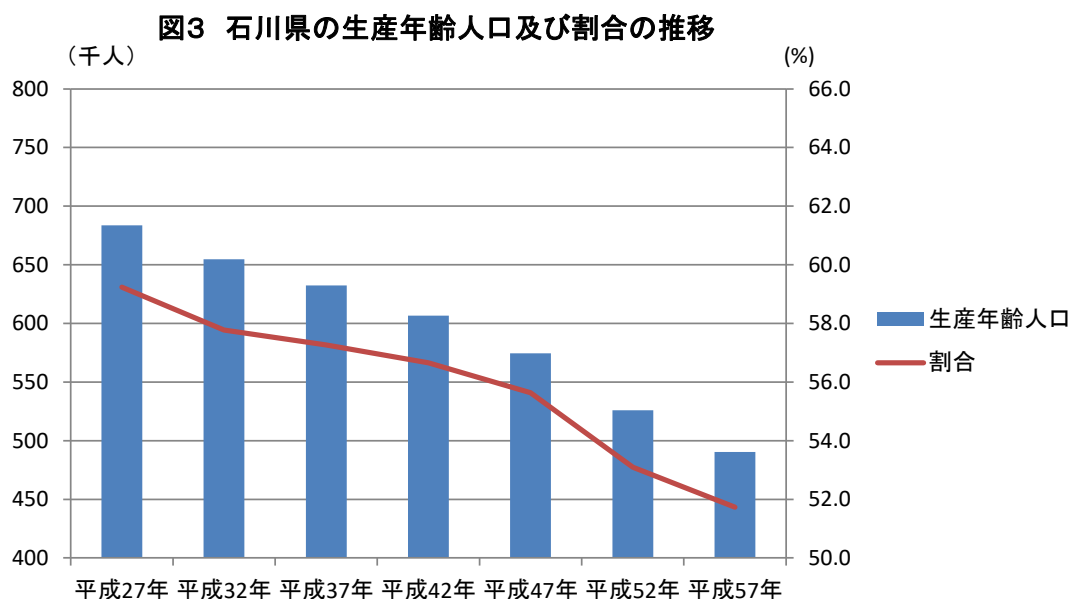
本県の生産年齢(15-64歳)人口は、総人口及び年少人口と同様に減少が続き、平成57(2045)年には490,392人と、平成27(2015)年(683,639人)の約7割に減少する。

総人口に占める割合も平成27(2015)年の59.2%から、平成57(2045)年には51.7%と7.5ポイント低下する。

表3 石川県の生産年齢(15-64歳)人口、指数及び割合の推移

年次	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
生産年齢人口(人)	683,639	654,602	632,363	606,643	574,403	525,905	490,392
指数 ※	100.0	95.8	92.5	88.7	84.0	76.9	71.7
割合 (%)	59.2	57.8	57.3	56.7	55.6	53.1	51.7

※ 平成27(2015)年の生産年齢人口を100としたときの生産年齢人口の値



(4) 老年(65歳以上)人口及びその割合は増加傾向。

本県の老年(65歳以上)人口は、平成32(2020)年から平成47(2035)年の間は変動が少ないが、全体としては徐々に増加傾向が続き、平成57(2045)年には352,796人と、平成27(2015)年(321,260人)の1.1倍近くに増加する。

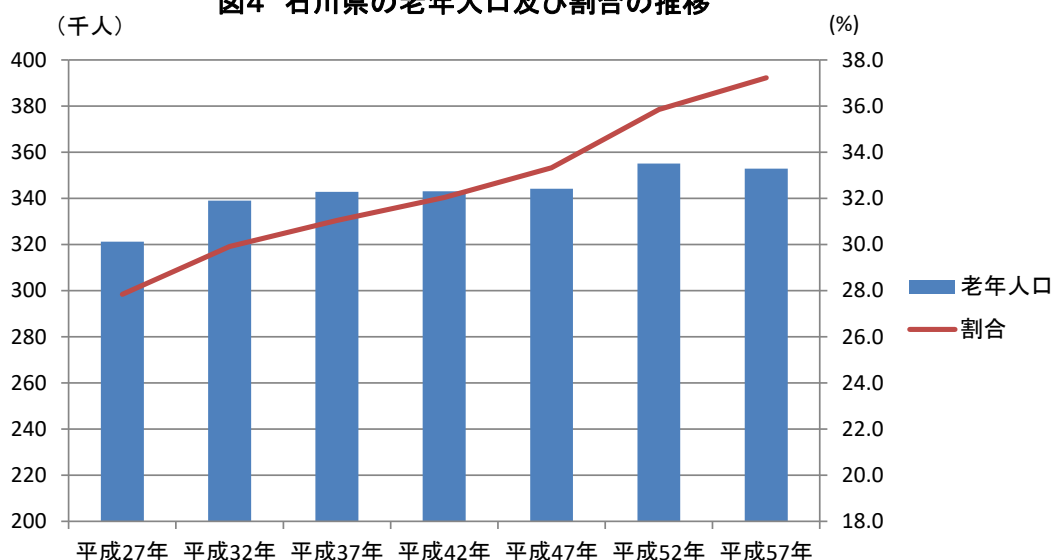
総人口に占める割合も平成27(2015)年の27.8%から、平成37(2025)年には3割を超え、平成57(2045)年には37.2%と9.4ポイント上昇する。

表4 石川県の老年(65歳以上)人口、指数及び割合の推移

年次	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
老年人口(人)	321,260	338,950	342,740	342,986	344,104	355,103	352,796
指数 ※	100.0	105.5	106.7	106.8	107.1	110.5	109.8
割合(%)	27.8	29.9	31.0	32.0	33.3	35.9	37.2

※ 平成27(2015)年の老年人口を100としたときの老年人口の値

図4 石川県の老年人口及び割合の推移



(5) 75歳以上人口は平成42(2030)年まで増加し、その後は減少傾向に転じる。

本県の75歳以上人口は、平成42(2030)年の215,772人をピークに、その後は減少傾向となり、平成57(2045)年には204,765人となる。

総人口に占める割合は平成27(2015)年の13.3%から、平成42(2030)年には2割を超え、平成57(2045)年には21.6%と8.3ポイント上昇する。

表5 石川県の75歳以上人口、指数及び割合の推移

年次	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
75歳以上人口(人)	153,171	173,282	207,232	215,772	211,583	205,225	204,765
指数 ※	100.0	113.1	135.3	140.9	138.1	134.0	133.7
割合(%)	13.3	15.3	18.8	20.2	20.5	20.7	21.6

※ 平成27(2015)年の75歳以上人口を100としたときの75歳以上人口の値

図5 石川県の75歳以上人口及び割合の推移

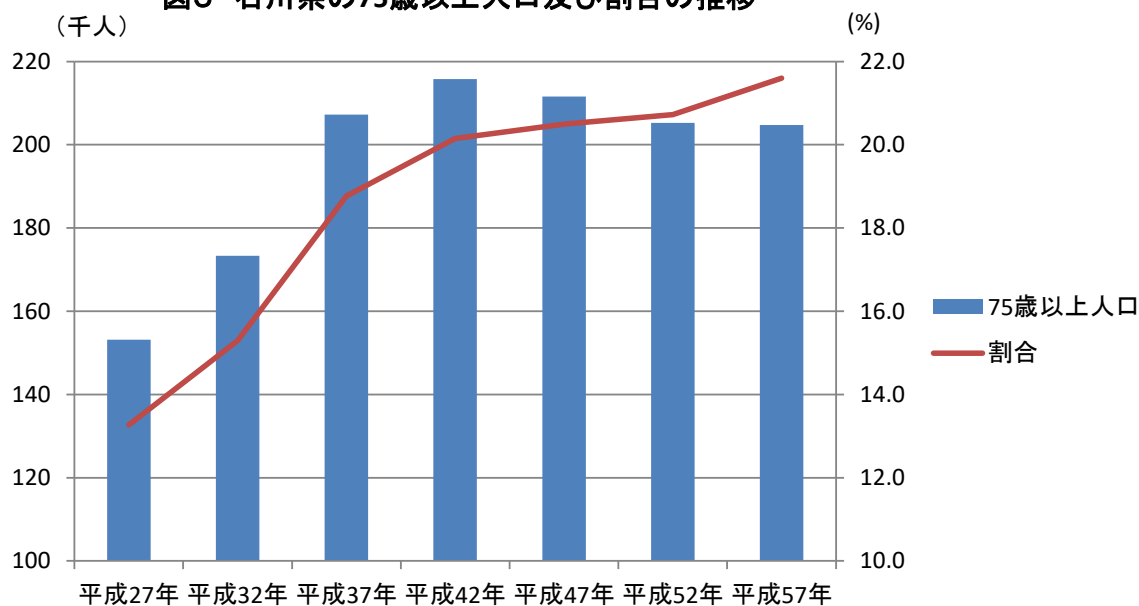
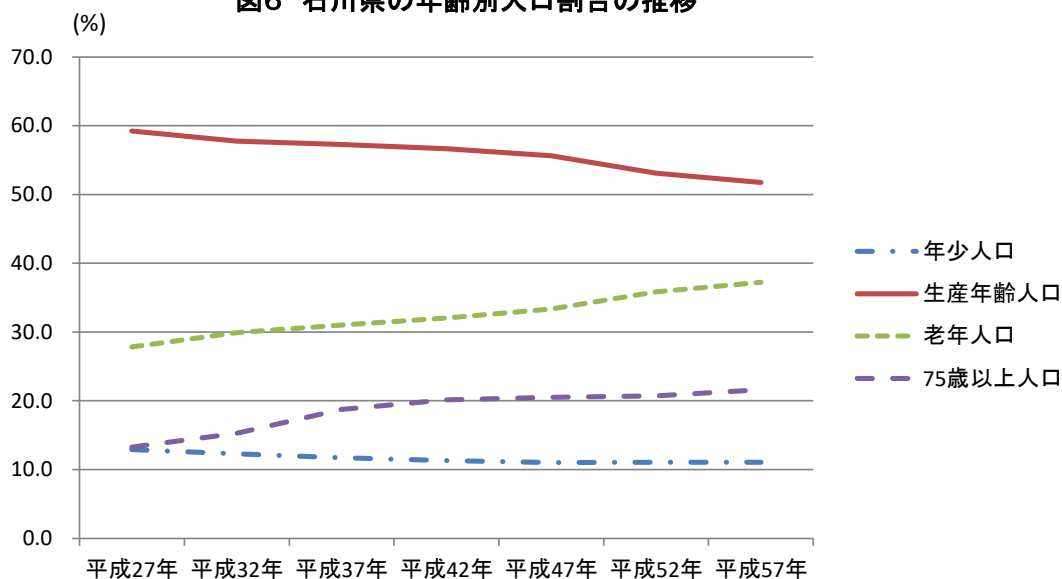


表6 石川県の年齢別人口割合の推移

年齢区分	割合 (%)						
	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
年少(0-14歳)人口	12.9	12.3	11.7	11.3	11.0	11.0	11.0
生産年齢(15-64歳)人口	59.2	57.8	57.3	56.7	55.6	53.1	51.7
老年(65歳以上)人口	27.8	29.9	31.0	32.0	33.3	35.9	37.2
75歳以上人口	13.3	15.3	18.8	20.2	20.5	20.7	21.6

※ 総人口に占める各年齢人口の割合

図6 石川県の年齢別人口割合の推移



(6) 石川県の総人口順位は平成 57(2045)年には全国 31 位に上昇。

本県の総人口を他の都道府県と比較すると、人口は減少するもののその減少率が比較的小さいため、全国順位は平成 27(2015)年の 34 位から平成 57(2045)年には 31 位に 3 ランク上昇する。

また、全国の総人口に占める割合は、0.9%で 30 年後も変わらない。

表 7 主な都府県別総人口（全国順位）の推移

都府県	順位	(人、%)							
		平成27年 (2015年)	割合 ※	順位	平成42年 (2030年)	割合 ※	順位	平成57年 (2045年)	割合 ※
東京都	1	13,515,271	10.6	1	13,882,538	11.7	1	13,606,683	12.8
神奈川県	2	9,126,214	7.2	2	8,933,474	7.5	2	8,312,524	7.8
大阪府	3	8,839,469	7.0	3	8,262,029	6.9	3	7,335,352	6.9
・		・			・			・	
・		・			・			・	
石川県	34	1,154,008	0.9	33	1,070,727	0.9	31	947,918	0.9
・		・			・			・	
・		・			・			・	
富山県	37	1,066,328	0.8	37	954,745	0.8	36	817,398	0.8
・		・			・			・	
・		・			・			・	
福井県	43	786,740	0.6	43	709,753	0.6	41	614,144	0.6
・		・			・			・	
・		・			・			・	

※ 全国総人口に占める割合

2 県内市町、地域の将来推計人口

(1) 平成 52(2040)年以降は全ての市町で人口が減少する。

県内市町別に将来推計人口をみると、総人口が増加する市町は平成 27(2015)年の 6 から今後減少を続け、平成 32(2020)年には 3、平成 37(2025)年には 2、平成 47(2035)年には 1 となり、平成 52(2040)年以降は全ての市町で人口が減少する。

地域別にみると、石川中央以外の地域は一貫して人口減少を続けるが、石川中央も平成 37(2025)年以降は減少に転じる。特に奥能登は、平成 32(2020)年以降減少率が 2 ケタとなる。

○総人口が増加する市町(5年前との比較)

平成 27(2015)年・・・6 (金沢市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町)

平成 32(2020)年・・・3 (金沢市、野々市市、川北町)

平成 37(2025)年～平成 42(2030)年・・・2 (野々市市、川北町)

平成 47(2035)年・・・1 (野々市市)

平成 52(2040)年～平成 57(2045)年・・・0

表8 石川県の市町・地域別人口増加率（総人口）

市町・地域	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
石川県	△ 1.3	△ 1.8	△ 2.5	△ 3.0	△ 3.6	△ 4.1	△ 4.3
加賀	△ 0.1	△ 0.5	△ 1.4	△ 2.0	△ 2.6	△ 3.1	△ 3.4
能登	△ 7.1	△ 8.2	△ 8.7	△ 9.2	△ 9.8	△ 10.7	△ 11.0
南加賀	△ 2.5	△ 3.0	△ 3.7	△ 4.2	△ 4.7	△ 5.1	△ 5.1
石川中央	0.7	0.3	△ 0.6	△ 1.3	△ 1.9	△ 2.5	△ 2.9
中能登	△ 5.7	△ 6.4	△ 7.1	△ 7.6	△ 8.3	△ 9.1	△ 9.4
奥能登	△ 9.6	△ 11.5	△ 12.0	△ 12.6	△ 13.3	△ 14.3	△ 15.1
金沢市	0.7	0.4	△ 0.5	△ 1.1	△ 1.7	△ 2.3	△ 2.7
七尾市	△ 4.4	△ 5.3	△ 5.9	△ 6.4	△ 6.8	△ 7.6	△ 7.9
小松市	△ 1.4	△ 2.0	△ 2.6	△ 3.2	△ 3.6	△ 4.0	△ 4.0
輪島市	△ 8.8	△ 11.4	△ 11.6	△ 11.9	△ 12.4	△ 13.4	△ 14.1
珠洲市	△ 10.3	△ 11.8	△ 12.2	△ 12.9	△ 14.1	△ 14.9	△ 15.3
加賀市	△ 6.5	△ 7.1	△ 7.9	△ 8.7	△ 9.5	△ 10.2	△ 10.5
羽咋市	△ 5.7	△ 6.3	△ 7.1	△ 7.7	△ 8.6	△ 9.6	△ 10.0
かほく市	△ 1.2	△ 1.8	△ 2.7	△ 3.3	△ 3.6	△ 3.9	△ 3.9
白山市	△ 1.1	△ 1.7	△ 2.4	△ 3.0	△ 3.7	△ 4.3	△ 4.5
能美市	0.4	△ 0.2	△ 1.1	△ 1.8	△ 2.3	△ 2.6	△ 2.7
野々市市	6.2	5.3	3.3	2.0	0.8	△ 0.2	△ 1.1
川北町	3.3	1.2	1.1	0.3	△ 0.1	△ 0.9	△ 1.1
津幡町	0.1	△ 0.9	△ 1.6	△ 2.0	△ 2.5	△ 3.3	△ 3.7
内灘町	0.2	△ 0.2	△ 1.2	△ 1.9	△ 2.3	△ 2.6	△ 2.9
志賀町	△ 8.1	△ 8.4	△ 9.1	△ 9.9	△ 10.9	△ 12.0	△ 12.4
宝達志水町	△ 7.7	△ 8.6	△ 9.5	△ 10.0	△ 10.9	△ 12.1	△ 12.7
中能登町	△ 5.2	△ 5.8	△ 6.6	△ 7.3	△ 7.7	△ 8.4	△ 8.5
穴水町	△ 9.7	△ 11.2	△ 12.2	△ 12.9	△ 13.6	△ 15.0	△ 16.2
能登町	△ 10.2	△ 11.5	△ 12.4	△ 13.2	△ 13.9	△ 15.1	△ 16.1

※ 人口増加率は5年前との比較

(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

(2) 30年後（平成57(2045)年）奥能登の人口は現在の半分以下に減少。

市町別の総人口を平成27(2015)年を100とした指数でみると、平成57(2045)年には、野々市市(110.5)と川北町(100.5)のみ100を超え、これ以外の17市町はすべて100を下回る。特に、輪島市(45.0)、珠洲市(41.8)、穴水町(41.8)と能登町(41.3)は50を下回り、人口が平成27(2015)年の半分以下となる。

地域別にみると、指数の高い順に石川中央(91.3)、南加賀(76.8)、中能登(60.7)、奥能登(42.9)の順となり、奥能登の人口は平成27(2015)年の半分以下となる。

(3) 今後も金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く。

地域別に県の総人口に占める各地域の総人口の割合をみると、石川中央のみ今後も上昇を続け、南加賀、中能登と奥能登は下降を続ける。金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く。30年の間に、加賀の総人口の割合は83.0%から88.7%に5.7ポイント上昇し、能登の総人口の割合は17.0%から11.3%に同ポイント下降する。

表9 石川県の市町・地域別将来推計人口（総人口）

市町・地域	総人口（人）		2015年を100とした指数
	2015年	2045年	
石川県	1,154,008	947,918	82.1
加賀	957,592	840,795	87.8
能登	196,416	107,123	54.5
南加賀	229,333	176,200	76.8
石川中央	728,259	664,595	91.3
中能登	128,221	77,839	60.7
奥能登	68,195	29,284	42.9
金沢市	465,699	429,826	92.3
七尾市	55,325	36,580	66.1
小松市	106,919	87,757	82.1
輪島市	27,216	12,241	45.0
珠洲市	14,625	6,112	41.8
加賀市	67,186	38,195	56.8
羽咋市	21,729	12,962	59.7
かほく市	34,219	28,130	82.2
白山市	109,287	89,546	81.9
能美市	48,881	43,872	89.8
野々市市	55,099	60,880	110.5
川北町	6,347	6,376	100.5
津幡町	36,968	32,103	86.8
内灘町	26,987	24,110	89.3
志賀町	20,422	10,524	51.5
宝達志水町	13,174	6,696	50.8
中能登町	17,571	11,077	63.0
穴水町	8,786	3,672	41.8
能登町	17,568	7,259	41.3

※（地域区分）加賀…かほく市・河北郡以南
 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南
 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図7 市町別総人口指数(2045年)

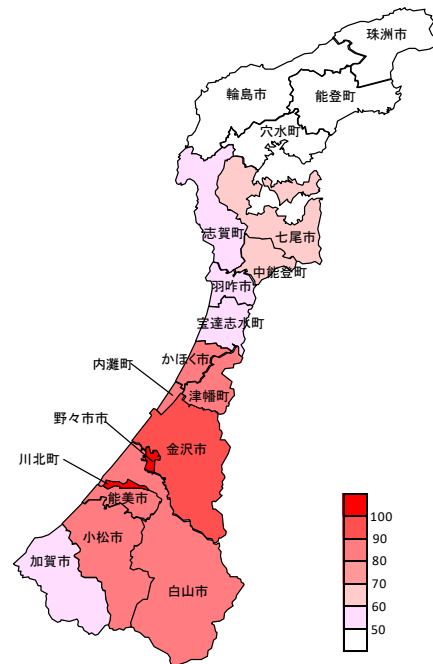
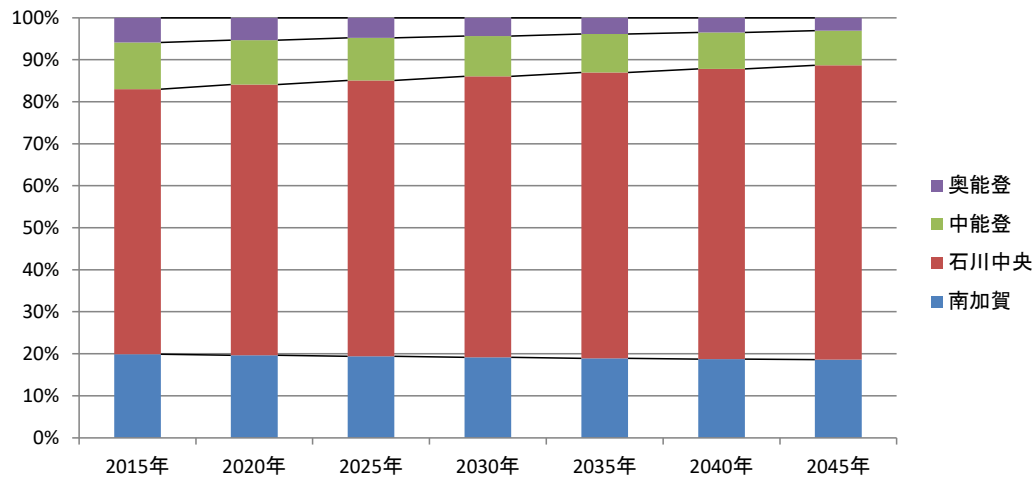


表10 各地域別総人口の割合の推移

地域	割合 (%)						
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
加賀	83.0	84.1	85.1	86.0	86.9	87.8	88.7
能登	17.0	15.9	14.9	14.0	13.1	12.2	11.3
南加賀	19.9	19.6	19.4	19.2	18.9	18.7	18.6
石川中央	63.1	64.4	65.7	66.9	68.0	69.1	70.1
金沢市	40.4	41.3	42.1	43.0	43.8	44.6	45.3
中能登	11.1	10.6	10.1	9.6	9.2	8.7	8.2
奥能登	5.9	5.3	4.8	4.3	3.9	3.5	3.1

※ 石川県の総人口に占める各地域の総人口の割合
 （地域区分）加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図8 各地域別総人口の割合の推移



(4) 年少(0-14歳)人口が増加するのは野々市市のみ。

市町別の年少人口を平成27(2015)年を100とした指数で見ると、平成57(2045)年には、野々市市(103.2)のみ100を超え、これ以外の18市町はすべて100を下回る。特に、穴水町(22.3)は平成27(2015)年の1/4以下となる。

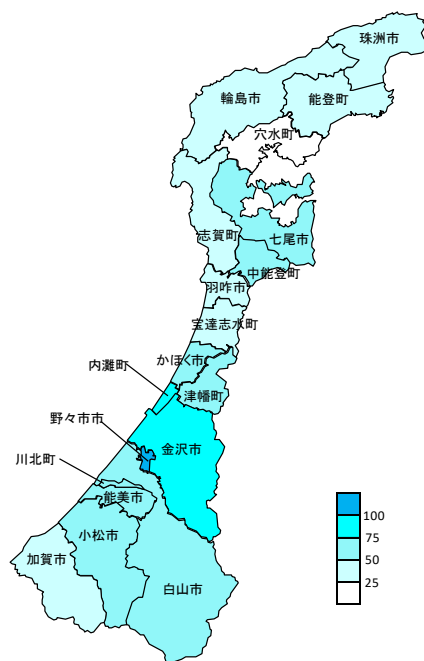
地域別にみると、やはり能登(45.4)の減少幅が大きく、中能登(50.6)で平成27(2015)年の約半分、奥能登(32.0)で約3割となる。

表11 石川県の市町・地域別将来推計人口(年少人口)

市町・地域	年少人口(0-14歳)(人)		2015年を100とした指数
	2015年	2045年	
石川県	149,109	104,730	70.2
加賀	129,444	95,804	74.0
能登	19,665	8,926	45.4
南加賀	31,668	20,533	64.8
石川中央	97,776	75,271	77.0
中能登	14,140	7,160	50.6
奥能登	5,525	1,766	32.0
金沢市	60,070	47,231	78.6
七尾市	6,117	3,616	59.1
小松市	15,027	10,735	71.4
輪島市	2,283	847	37.1
珠洲市	1,157	351	30.3
加賀市	7,749	3,459	44.6
羽咋市	2,287	1,087	47.5
かほく市	4,681	3,315	70.8
白山市	15,721	9,928	63.2
能美市	7,596	5,368	70.7
野々市市	8,132	8,393	103.2
川北町	1,296	971	74.9
津幡町	5,450	3,481	63.9
内灘町	3,722	2,923	78.5
志賀町	2,073	873	42.1
宝達志水町	1,426	463	32.5
中能登町	2,237	1,121	50.1
穴水町	672	150	22.3
能登町	1,413	418	29.6

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南
 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南
 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図9 市町別年少人口指数(2045年)



(5) 生産年齢(15-64歳)人口はすべての市町で減少。

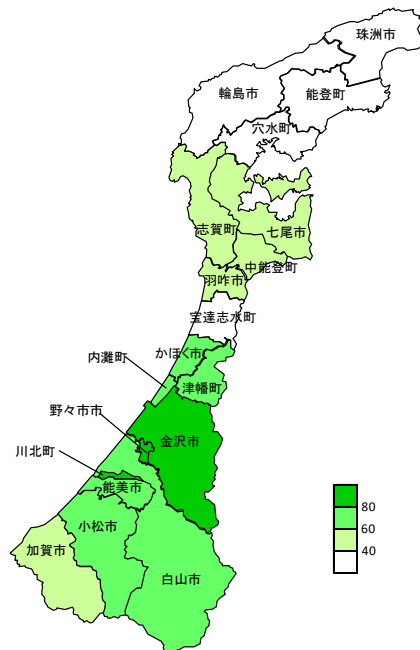
市町別の生産年齢人口を平成27(2015)年を100とした指数で見ると、平成57(2045)年には、すべての市町で100を下回る。指数が最も高いのは野々市市(95.6)、最も低いのは穴水町(30.1)である。

地域別にみると、年少人口と同様に能登(45.7)の減少幅が大きく、奥能登(34.5)では平成27(2015)年の4割以下となる。

表12 石川県の市町・地域別将来推計人口（生産年齢人口）

市町・地域	生産年齢人口(15-64歳) (人)		2015年を100とした指数
	2015年	2045年	
石川県	683,639	490,392	71.7
加賀	583,607	444,688	76.2
能登	100,032	45,704	45.7
南加賀	132,429	88,732	67.0
石川中央	451,178	355,956	78.9
中能登	67,942	34,642	51.0
奥能登	32,090	11,062	34.5
金沢市	289,118	232,141	80.3
七尾市	30,001	17,086	57.0
小松市	62,344	45,321	72.7
輪島市	13,204	4,923	37.3
珠洲市	6,646	2,255	33.9
加賀市	37,081	17,270	46.6
羽咋市	11,450	5,555	48.5
かほく市	19,709	14,327	72.7
白山市	65,531	45,066	68.8
能美市	29,268	22,787	77.9
野々市市	36,718	35,112	95.6
川北町	3,736	3,354	89.8
津幡町	23,322	16,260	69.7
内灘町	16,780	13,050	77.8
志賀町	10,136	4,231	41.7
宝達志水町	7,059	2,704	38.3
中能登町	9,296	5,066	54.5
穴水町	4,109	1,235	30.1
能登町	8,131	2,649	32.6

図 10 市町別生産年齢人口指数(2045年)



(6) 老年(65歳以上)人口は金沢市及びその近郊で増加傾向。

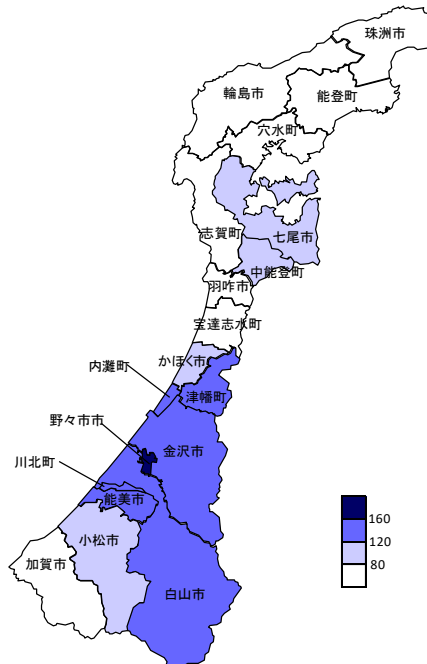
市町別の老年人口を平成 27(2015)年を 100 とした指数で見ると、平成 57(2045)年には、野々市市(169.5)、川北町(156.0)、津幡町(150.8)、能美市(130.8)、金沢市(129.1)、内灘町(125.5)、白山市(123.2)など金沢市とその近郊での増加が目立つ。

地域別にみると、加賀(122.8)では増加するが、能登(68.4)では減少する。従って、能登ではすべての年齢層で人口が減少する。

表13 石川県の市町・地域別将来推計人口（老年人口）

市町・地域	老年人口(65歳以上) (人)		2015年を100とした指数
	2015年	2045年	
石川県	321,260	352,796	109.8
加賀	244,541	300,303	122.8
能登	76,719	52,493	68.4
南加賀	65,236	66,935	102.6
石川中央	179,305	233,368	130.2
中能登	46,139	36,037	78.1
奥能登	30,580	16,456	53.8
金沢市	116,511	150,454	129.1
七尾市	19,207	15,878	82.7
小松市	29,548	31,701	107.3
輪島市	11,729	6,471	55.2
珠洲市	6,822	3,506	51.4
加賀市	22,356	17,466	78.1
羽咋市	7,992	6,320	79.1
かほく市	9,829	10,488	106.7
白山市	28,035	34,552	123.2
能美市	12,017	15,717	130.8
野々市市	10,249	17,375	169.5
川北町	1,315	2,051	156.0
津幡町	8,196	12,362	150.8
内灘町	6,485	8,137	125.5
志賀町	8,213	5,420	66.0
宝達志水町	4,689	3,529	75.3
中能登町	6,038	4,890	81.0
穴水町	4,005	2,287	57.1
能登町	8,024	4,192	52.2

図 11 市町別老年人口指数(2045年)



(7) 75歳以上人口は野々市市で2倍以上に増加。

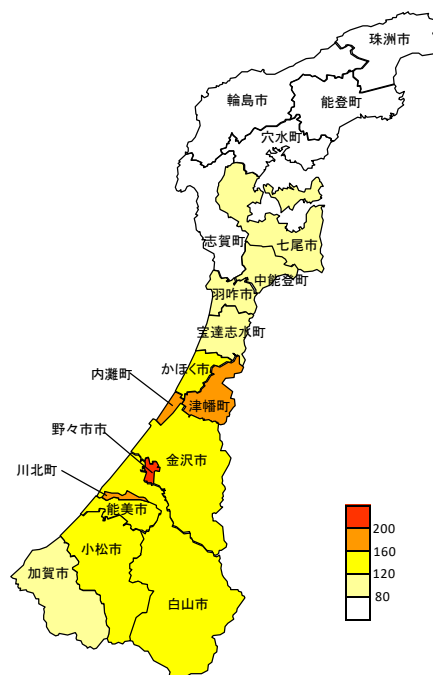
市町別の75歳以上人口を平成27(2015)年を100とした指数で見ると、平成57(2045)年には、野々市市(212.2)と平成27(2015)年の2倍以上となるなど金沢市とその近郊での増加が目立つが、珠洲市(59.8)など奥能登の各市町は減少する。

地域別にみると、加賀(152.2)では大幅に増加するが、能登(82.3)では減少する。

表14 石川県の市町・地域別将来推計人口(75歳以上人口)

市町・地域	75歳以上人口(人)		2015年を100とした指数
	2015年	2045年	
石川県	153,171	204,765	133.7
加賀	112,534	171,314	152.2
能登	40,637	33,451	82.3
南加賀	30,791	38,598	125.4
石川中央	81,743	132,716	162.4
中能登	23,318	22,390	96.0
奥能登	17,319	11,061	63.9
金沢市	54,201	86,144	158.9
七尾市	9,669	9,906	102.5
小松市	13,791	18,023	130.7
輪島市	6,670	4,384	65.7
珠洲市	3,834	2,291	59.8
加賀市	10,891	10,841	99.5
羽咋市	3,990	3,936	98.6
かほく市	4,529	5,988	132.2
白山市	12,173	19,433	159.6
能美市	5,462	8,651	158.4
野々市市	4,465	9,473	212.2
川北町	647	1,083	167.4
津幡町	3,719	7,131	191.7
内灘町	2,656	4,547	171.2
志賀町	4,305	3,430	79.7
宝達志水町	2,326	2,232	96.0
中能登町	3,028	2,886	95.3
穴水町	2,312	1,562	67.6
能登町	4,503	2,824	62.7

図12 市町別75歳以上人口指数(2045年)



3 県内市町、地域の年齢別人口割合

(1) 年少(0-14歳)人口割合はすべての市町で低下。

県内市町別に年少人口の年齢別割合をみると、平成57(2045)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのは川北町(15.2%)、最も低いのは穴水町(4.1%)である。

地域別にみると、平成57(2045)年には奥能登(6.0%)に加え中能登(9.2%)でも1割以下となる。

(2) 生産年齢(15-64歳)人口割合もすべての市町で低下。

市町別に生産年齢人口の年齢別割合をみると、年少人口割合と同様に平成57(2045)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのは野々市市(57.7%)、最も低いのは穴水町(33.6%)である。

地域別にみると、平成57(2045)年には能登(42.7%) (奥能登(37.8%)、中能登(44.5%))で半分以下となる。

(3) 老年(65歳以上)人口割合はすべての市町で上昇。

市町別の老年人口の年齢別割合をみると、平成 57(2045)年には、すべての市町でその割合が上昇する。割合が最も高いのは穴水町(62.3%)、最も低いのは野々市市(28.5%)である。

地域別にみると、各地域とも大幅に上昇し、奥能登(56.2%)では5割を超えるものの、能登4市5町の老年人口そのものは減少する。

(4) 75歳以上人口割合もすべての市町で上昇。

市町別の75歳以上人口の年齢別割合をみると、平成 57(2045)年には、すべての市町でその割合が上昇する。割合が最も高いのは能登町(42.5%)、最も低いのは野々市市(15.6%)である。

地域別にみると、各地域とも大幅に上昇し、加賀(20.4%)では平成 27(2015)年(11.8%)の2倍近くに
なるものの、奥能登2市2町の75歳以上人口そのものは減少する。

表15 石川県の市町・地域別、年齢別人口割合

(%)

市町・地域	年少人口		生産年齢人口		老年人口		75歳以上人口	
	2015年	2045年	2015年	2045年	2015年	2045年	2015年	2045年
石川県	12.9	11.0	59.2	51.7	27.8	37.2	13.3	21.6
加賀	13.5	11.4	60.9	52.9	25.5	35.7	11.8	20.4
能登	10.0	8.3	50.9	42.7	39.1	49.0	20.7	31.2
南加賀	13.8	11.7	57.7	50.4	28.4	38.0	13.4	21.9
石川中央	13.4	11.3	62.0	53.6	24.6	35.1	11.2	20.0
中能登	11.0	9.2	53.0	44.5	36.0	46.3	18.2	28.8
奥能登	8.1	6.0	47.1	37.8	44.8	56.2	25.4	37.8
金沢市	12.9	11.0	62.1	54.0	25.0	35.0	11.6	20.0
七尾市	11.1	9.9	54.2	46.7	34.7	43.4	17.5	27.1
小松市	14.1	12.2	58.3	51.6	27.6	36.1	12.9	20.5
輪島市	8.4	6.9	48.5	40.2	43.1	52.9	24.5	35.8
珠洲市	7.9	5.7	45.4	36.9	46.6	57.4	26.2	37.5
加賀市	11.5	9.1	55.2	45.2	33.3	45.7	16.2	28.4
羽咋市	10.5	8.4	52.7	42.9	36.8	48.8	18.4	30.4
かほく市	13.7	11.8	57.6	50.9	28.7	37.3	13.2	21.3
白山市	14.4	11.1	60.0	50.3	25.7	38.6	11.1	21.7
能美市	15.5	12.2	59.9	51.9	24.6	35.8	11.2	19.7
野々市市	14.8	13.8	66.6	57.7	18.6	28.5	8.1	15.6
川北町	20.4	15.2	58.9	52.6	20.7	32.2	10.2	17.0
津幡町	14.7	10.8	63.1	50.6	22.2	38.5	10.1	22.2
内灘町	13.8	12.1	62.2	54.1	24.0	33.7	9.8	18.9
志賀町	10.2	8.3	49.6	40.2	40.2	51.5	21.1	32.6
宝達志水町	10.8	6.9	53.6	40.4	35.6	52.7	17.7	33.3
中能登町	12.7	10.1	52.9	45.7	34.4	44.1	17.2	26.1
穴水町	7.6	4.1	46.8	33.6	45.6	62.3	26.3	42.5
能登町	8.0	5.8	46.3	36.5	45.7	57.7	25.6	38.9

※ 総人口に占める各年齢別人口の割合

(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

石川県の将来推計人口
(H30 国立社会保障・人口問題研究所推計)

平成 30 年 4 月 発行

編集・発行 石川県県民文化スポーツ部県民交流課
統計情報室人口労働グループ
〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
TEL 076-225-1344
FAX 076-225-1345
E-mail toukei@pref.ishikawa.lg.jp

石川県統計情報室ホームページ
<http://toukei.pref.ishikawa.jp/>